

令和4年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立光明の郷ケアセンター(老人デイサービスセンター)
指定管理者	社会福祉法人大阪府社会福祉事業団
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設概要	指定通所介護 共生型生活介護 (定員28名) 通所型サービスA(定員3名)
市支出額	なし

2. 事業の実施状況

サービス利用状況	<p>延べ利用者数 6746人 (前年比+548)</p> <p>1日平均利用者数 21.7人 (前年比-1.8)</p> <p>事故件数 6件 重大事故 0件</p>
住み慣れた地域の中で安心して暮らせるお手伝い	<p>ご家族様や本人様の思いを大切に、出来る限り在宅での生活が続けられるよう、機能訓練指導員3名で協力しながら個別機能訓練を実施しました。事業所外での歩行訓練を実施し、ご自分で外出が出来る方は、継続して外出が出来るよう、お一人お一人の日常生活にあった機能訓練を実施しています。機能訓練指導員間での情報共有、外部のリハビリ専門職員との情報共有をしっかりと行い、個別性を大切にしたプログラムを考え、実施しながらご利用者1人1人が安心、安全な生活を少しでも長く継続していけるよう、次年度も取り組んでいきます。また、デイサービスから帰宅されたのちの夕食でも栄養が摂れるよう、夕食弁当サービスの提供も行い、デイサービスから帰宅された後も安心して生活して頂けるようにしています。</p>
共生型サービスの実施	<p>高齢者デイサービスで共生型の障がい福祉サービス（共生型生活介護）を昨年度に引き続き継続しています。</p> <p>障がい福祉について研修に参加したりすることで知識を深め、その情報を職員間で共有することでより良いサービスを提供していけるよう取り組みを継続していきます。</p>

3. 利用者の満足度

(1) 利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	ご利用者様1人1人に寄り添ったケアを行い、レクリエーション等を楽しんで頂き、良い表情で帰って頂けるよう今後もサービスの質の向上に努めていきます。また、昨今のニーズに応えるため、体操や個別機能訓練等の運動の取り組みに力を入れていきます。
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	
------------	--

(3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	より良いサービスの提供の為、感染症対策をしっかりと行いながらレクリエーションを創意工夫していきます。個別機能訓練や体操などの運動に関しても質の向上に努めていきます。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------

4. 収支状況（事業活動明細書より）

【収入】	63,150,228円
【支出】	65,698,482円
【収支差】	-2,548,254円

5. 特別提案の状況

光明の郷いきいき健康教室	コロナ禍のためいきいき健康教室の開催はできませんでした。2類感染症から5類感染症になり徐々に制限は解除されてきましたが、高齢者の感染は引き続き認められており、体調も悪化する傾向は変わらないため、いきいき教室の再開は慎重にします。地域の方の健康を目標に再開を目指します。
多世代交流行事の実施 小中学校への福祉体験の実施	多世代交流行事に関してはコロナ禍の理由で実施はできませんでしたが、制限の解除に伴い再開を検討していきます。小中学校への福祉体験では依頼があった時に地域の福祉用具事業所と協力をして実施しました。引き続き地域に向けて福祉を身近に感じて頂ける活動を実施します。
ちょこっとお手伝い隊の実施	概ね10分程度のちょっとしたお手伝いで、年間2, 3件の依頼がありました。依頼内容は、「階段がありゴミが出せないのを出してほしい」「3段のカラーボックスを組み立ててほしい」などです。引き続きちょこっとしたことでお困りの方の悩み事を解決します。

6. 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルスの感染症対応について細心の注意を払いながら、デイサービスとしての質を落とさぬよう工夫を凝らし、ご利用者様に楽しんで頂けるよう努めてきました。レクリエーションは、創作やミニゲームなどグループ分けをしながら行い、ご利用者様のその日の気分や好みに合わせられるようにしています。個別機能訓練について在宅生活を継続する上でのニーズがあり、そのニーズに応えられるよう努めています。更なるケアの質の向上のために科学的根拠を持ったケアに職員一同のぞんでいきたいと思っています。